

「千葉氏」と「北斗の拳」がコラボレーションを行います！ ～平成30年4月1日からJR海浜幕張駅のデジタルサイネージにて放映開始～

千葉市では、今年、千葉氏中興の祖と言われる千葉常胤の生誕900年を迎えています。これに合わせて、千葉氏と同様に、そのストーリーを語る上で北斗七星が重要な鍵となっており、さらには同じく記念の年（35周年）を迎えている「北斗の拳」とコラボレーションを行いますのでお知らせします。

1 趣旨・目的

本市の礎が中世に千葉氏によって築かれたことや、北極星や北斗七星を信仰する「北辰（^{ほくしん}妙見^{みょうけん}）^{しんこう}信仰」のもとに、全国の領地に散った一族が結束していたという千葉氏の歴史をより多くの人々に知っていただき、本市の都市アイデンティティ確立を目指します。

企画の第1弾としてJR海浜幕張駅におけるデジタルサイネージにコラボレーションデザインを放映し、今後も様々な企画を展開します。

2 デジタルサイネージ放映の概要

(1) 放映場所

JR海浜幕張駅改札内 2面（70インチ）

(2) 放映期間（予定）

平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

(3) 放映時間

5：00～24：00（15秒を3分に一回放映）

(4) コンテンツ内容

右図のとおり（静止画）

※デザインを記事に使用する場合は、次のクレジット表記をお願いします。

「©武論尊・原哲夫/NSP1983 著作権許諾証 GT-408」

デジタルサイネージデザイン



《参考》

- 1 「千葉常胤」は、源頼朝を助けて、鎌倉幕府の成立に大きく貢献した武将で、常胤の功績により、東北から九州に及ぶ各地に所領を獲得し、千葉氏は幕府内でも有数の御家人となりました。
- 2 「北斗の拳」は、「週刊少年ジャンプ」に1983年～1988年まで、原作・武論尊、漫画・原哲夫により連載された作品です。核戦争により文明社会が失われ、力が支配する世界となった世紀末を舞台に、胸に北斗七星の傷を持つ、北斗神拳の伝承者・ケンシロウが愛と哀しみを背負い救世主として成長していく姿が描かれています。TVアニメや劇場版、脇役たちをフューチャーした外伝が作られるなど人気は高く、社会現象にまでなった作品です。